

■ 中小企業の経営支援、事業性評価及び地域活性化のための取組み状況

1. 中小企業(小規模事業者を含む。以下同じ。)の経営支援に関する取組み方針

- ①事業内容の把握に努めること。
- ②経営者が抱える課題の把握に努めること。
- ③課題の解決策を経営者とともに考えること。
- ④解決策を折り込んだ計画について策定協力していくこと。
- ⑤外部専門家(認定支援機関、(株)大阪彩都総合研究所アドバイザーなど)や第三者機関(中小企業再生支援協議会、地域経済活性化支援機構など)を積極的に活用していくこと。

2. 担保・保証に過度に依存しない支援に対する取組み方針

- ①不動産担保だけにとられない支援を行っていくこと。
- ②経営者保証ガイドラインに則った支援を行っていくこと。
- ③財務データだけにとられない支援を行っていくこと。
- ④事業性評価(事業の内容や成長可能性に関する分析・評価)に基づく支援を行っていくこと。
- ⑤ABL(アセット・ベース・レンディング)・売掛債権・商品在庫・機械設備などを担保とする融資を積極的に実施していくこと。

3. 中小企業の経営支援に関する態勢整備(外部専門家・外部機関等の連携を含む。)および主な取組み状況

(1) 創業・新規事業開拓の支援態勢、および取組み実績

- ①当金庫独自のプロパー創業等支援商品「始めくん」、「北おおさかスタートローン」に加えて、日本政策金融公庫(国民生活事業)との協調融資専用商品「ゆめのつばさ」を創設しました。
★「ゆめのつばさ」2017年度実績 22件・80百万円(2017年10月より創設)
- ②大阪信用保証協会、兵庫信用保証協会の保証付き商品(制度融資)も取扱いしています。
★信用保証協会の保証付き創業支援融資 2017年度実績43件・193百万円
- ③産業競争力強化法に基づく、地元市町村の「特定創業支援事業」に参画するなど、地域に根付いた創業支援ネットワークを通じて、創業の活性化をサポートしています。

(2) 成長段階における支援態勢、および取組み実績

- ①信金中央金庫と信金キャピタル(株)が共同出資する中小企業向け創業・育成&成長支援ファンド「しんきんの翼」を通じて、資本または資本金性資金の供給をサポートしています。
- ②「ものづくり・商業・サービス支援補助金」など、補助金・助成金などの活用をサポートします。
★「平成28年度補正 ものづくり補助金」採択企業20先(当金庫が「事業計画書の確認書」を発行)
- ③大阪府が設置した「大阪府プロフェッショナル人材戦略拠点」(エル・おおさか本館3階)と連携し、アドバイザーによる無料相談、適切な人材紹介会社の案内、セミナー開催など、成長段階における外部からの「プロ人材」採用をサポートしています。

- ④大阪府「MOBIO知財サポートチーム」などによる無料相談、特許庁「知財ビジネス評価書」、近畿経済産業局「知財ビジネスマッチング」など、知的財産権を経営に活かすサポートも積極的にを行っています。
★2017年度実績:大阪府「MOBIO知財サポートチーム」相談2先、特許庁「知財ビジネス評価書」発行1先

(3) 経営改善・事業再生における支援態勢、および取組み実績

- ①中小企業再生支援協議会と密接に連携し、経営改善・事業再生支援を積極的に実施しています。
★2017年度実績:新規持込2先、暫定リスクスケジュール計画から合算計画への移行1先
「経営者保証に関するガイドライン」に沿った保証債務整理についても、適切に対応いたします。
事業再生支援等においては、地域経済活性化支援機構(REVIC)とも連携しています。
- ②認定経営革新等支援機関による「経営改善計画策定支援事業(専門家費用の3分の2を補助)」を積極的にお勧めし、専門家と連携した経営改善等の実践をサポートしています。
★「経営改善計画策定支援事業」2017年度実績:持込(当金庫メイン)7先(累計80先)

(4) 事業承継、後継者問題などへの支援態勢

- ①大阪府事業引継ぎ支援センター(大阪商工会議所内)と連携し、親族内承継から、後継者不在の場合のM&A支援まで、幅広くサポートしています。
- ②信金キャピタル(株)と連携し、全国的なネットワークを活かした事業承継(M&A)支援もサポートしています。

4. 地域の活性化に関する取組み状況

(1) 以下のプラットフォームに参画し、中小企業支援施策(「ミラサポ」専門家派遣など)や地域金融の活用について連携、情報交換等を行っています。

- ①北摂地域中小企業支援プラットフォーム(代表機関:豊中商工会議所)・・・「大阪府よろず支援拠点」を含む
- ②大阪市域支援専門家プラットフォーム(代表機関:大阪商工会議所)

(2) TKC近畿大阪会と「中堅・中小企業の持続的成長支援に関する覚書」を締結し、相互の協力関係を強化して、地域社会の発展に寄与することを目指して活動しています。

- (3)「きたしん うまいもん市 食のバイヤー商談会」、「きたしん ビジスマッチングフェア2017with大阪大学」を開催し、ビジスマッチングを通じた地域経済の活性化を推進しています。

■ 当金庫の金融仲介の取組み

2016年9月、金融機関における金融仲介機能の発揮状況を客観的に把握できる多様な指標として、「金融仲介機能のベンチマーク」が金融庁より公表されました。当金庫はベンチマークの活用を通じて、金融仲介機能の向上に努めてまいります。

1. 当金庫がメインバンク(融資残高1位)として取引を行っている企業のうち、経営指標(売上・営業利益率)の改善や就業者数の増加が見られた先数、および同先に対する融資額の推移

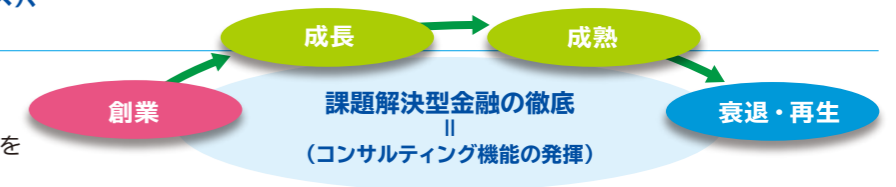
当金庫では、大阪北部を地盤とする金融機関の中では最大級のネットワークを活かし、地元企業のみならずしっかりと寄り添う「顧客基盤の拡充」を目指してまいります。

	2018年3月末		2016年3月末	2017年3月末	2018年3月末
メイン先数(グループベース)	6,257社	経営指標が改善した先(※2018年3月末現在の)、3年間の事業年度末の融資残高の推移	1,982億円	2,215億円	2,313億円
メイン先の融資残高	3,196億円				
経営指標が改善した先数※	3,960社				

★「経営指標の改善」とは、売上・営業利益率のいずれかが改善した状況と定義しています。
★「3年間の融資残高の推移」は「2018年3月末現在の経営指標が改善した先数」に対する計数であり、2017年ディスクロージャーにて開示した「2017年3月末現在の計数等」とは異なります。

2. ライフステージ別の与信先数(単体ベース)、および融資額

当金庫では、企業のライフステージに応じた支援施策を充実させ、様々な経営課題の解決を通じて、中長期的な視点にて「企業価値の向上」をサポートしてまいります。



	全与信先	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
ライフステージ別の与信先数	15,219社	1,096社	1,200社	10,590社	600社	1,733社
2018年3月末の融資残高	5,289億円	186億円	664億円	3,648億円	207億円	581億円

★「ライフステージ」は、
過去5期の売上高などにより、
次のとおり区分しています。
●創業期:創業、第二創業から5年まで
●成長期:売上高平均で直近2期が直近5期の120%超
●安定期:売上高平均で直近2期が過去5期の80%以上~120%以下
●低迷期:売上高平均で直近2期が過去5期の80%未満
●再生期:貸付条件の変更又は延滞がある期間

3. 当金庫が関与した創業支援の先数、および創業支援専用商品による融資実行額

当金庫では、創業にチャレンジする事業者様のご融資等相談業務に積極的に取組み、金融面および本業面での支援を通じて、地域経済の活性化を図ってまいります。2018年4月より「創業祝金」1社5万円を贈呈する取組みを開始いたします。

	先数	融資実行額
創業支援専用商品による、2017年度の創業支援先数、および融資実行額	74	305百万円

★「創業支援専用」融資商品は、「北おおさかスタートローン」、「始めくん」、日本政策金融公庫との協調融資専用商品「ゆめのつばさ」、信用保証協会の創業向け制度融資を集計しています。
★「創業祝金」は、2018年4月以降に当金庫で創業支援融資(100万円以上)を利用し、創業計画書を提出いただいた方を半期毎に確定し、初回のみ贈呈いたします。(授与式を兼ねた創業者交流会の開催を予定しています。)

■ 「経営者保証に関するガイドライン」への取組み

当金庫では、「経営者保証ガイドライン」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客さまからお借入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するための態勢を整備しています。また、経営者保証の必要性については、お客さまとの丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務等の状況を把握し、同ガイドラインの記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めています。

	2017年度
新規に無保証で融資した件数	1,264件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合(件数ベース)	4.50%
保証契約を解除した件数	60件
「経営者保証に関するガイドライン」に基づく保証債務整理の成立件数(当金庫をメイン金融機関として実施したものに限り)	0件